平成 23 年 7 月 1 日
第 50 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

「初めて見ました」小学2年生が田植え見学



田植え機をそばで見ることは滅多にないのでみんな興味津々

6月10日、今年の農業用水汲み上げが始まりました。水を待っていた耕作者は一斉に水田にトラクターで乗り込み代掻き作業が始まりました。週末は殆どの水田で田植えが開始。圃場は一気に活気に溢れました。

大部分の植え付けが終わった15日、上郷小学校の2年生が総合学習の一環として、田植え作業の見学にやってきました。今年の2年生は3クラス88名となっています。

まずお米が何からできるのか教えてあげました。食べるお米がお米になるということがみんなの頭の中では簡単には結びつかなかったようです。「お米の周りを殻が被っていて、それを籾というのです。これを専用の苗箱に特別な泥を敷いた上に籾を置き、苗を育てるのです。」原田憲一郎代表が説明しましたが、ちょっと難しかったかも知れません。

次に実際の機械を使った田植えを見ました。田植機が苗を水田に植えていくのは、とても興味があるようで、田植え機への質問がありました。「スクリューのようなものがくるくる回って、どうして田植えができるのですか?」なかなか説明が難しいですね。「どうしてこんなに水がいるのですか?」これも正確に伝えることは難しいです。

後日、2年生の児童からお礼の手紙が届きました。苗ができる様子や、お米の種類、田植え機のことなど、驚いたことや感心したことがつづられていました。

共同作業で水路クリーンアップ



雨の中、狭い水路での作業

5月29日、農業水路の清掃作業が行われました。農業用水の汲み上げの前に年に一度行うものです。溜まった土砂を取り除き、水の流れを確保するためのものです。

当日は朝から雨、全員雨具を着用しての作業となりました。今回は今まで清掃していなかった三角公園南側の水路も作業を行いました。ここは長い間手を付けないままでしたので、かなりの量の土砂がたい積していました。

水の流れが変化するところには土砂がたい積し、流れに対して障害となります。そうした土砂を撤去することは、大雨の際の防災にも重要な作業となります。

農家が中心になって行っている作業ですが、非農家の方も参加できます。八方原の環境を守る会もこの共同作業を支援をしています。



掘り出した土砂は市の清掃パッカー車で運搬

八方原の麦の刈り取りが復活

「麦秋」と書くとそれは晩春の季語とされています。八方原地区に数十年ぶりの「麦秋」が帰ってきました。

麦は刈り取りのタイミングが難しく、しっかり熟れていないと、実が柔らかくてコンバインなどに障害が起きるとのことでした。麦作の盛んなところでも、収穫に苦慮しています。

6月6日、試験的に植えられた麦が慎重に刈り取られました、この麦は、小麦粉となっていくようです。どこかで口にするかも知れませんね。



春にコンバインはこの最近見なかった

さつまいも植えなら任せて♫


みんな手慣れたもの、芋植えはあっという間に終了

八方原子ども会は恒例のさつまいもの植え付けを6月4日に行いました。毎年大きなさつまいもができる佐々木さんの畑をお借りしています。

昨年のおごおり文化祭でも大きさの部門で金賞を獲得しています。目指せ連続チャンプ。しっかり手入れをしてあげてくださいね。

見損なっちゃ困るぜ

「カアーカアー」と大きな鳴き声の真っ黒いカラスはあまり人々には好まれる鳥ではありません。しかし、このカラスは鳥類の中でも極めて知能の高い鳥であることが研究者の間で分かってきました。

ある場所では、特定の人に襲いかかるカラスが話題になっていました。ところがこれは単なる偶然ではなくカラスは人の顔をに認識し、危険な人物と見なすと仲間、あるいは親から子へ伝えているということが証明されました。

また取りづらい餌は道具を使って掬いだすことも記録されています。実験的に道具を別の道具で取り出さないと餌がとれないという仕掛けをしてみましたが、それも簡単に見破って楽々と餌を取っていました。また、交通信号の色を見極めて、安全な赤信号の際に車道に降りて自動車の通る箇所に胡桃の実を置き、タイヤで胡桃を割ってもらって中身を食べる器用なことも各地で見られています。

社会性も持っていることも紹介されていました。あの「カアーカアー」という鳴き声は仲間に何かを知らせる声で、家族でのコミュニケーションには非常に穏やかな「クワクワ」というような鳴き声です。

どうもカラスは苦手という方も多いでしょうが、真っ黒い姿からは想像つかない知恵者のようですよ。

※ＮＨＫ教育テレビ「ＥＴＶ特集」


黒色は知恵者の象徴かも

新町が水田に浮かぶ

田植えが終わり、水田に水が張られた時にしか見ることのできない夜景の映り込みを撮影しました。稲が大きくなるとこの映り込みは見られなくなります。


市道から見る新町地区のスーパーやボウリング場一帯